

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

介護福祉科では、介護福祉士として対象者の生活を施設、地域で支えようとする次のような人たちを求めています。

- 1 思いやりの心を持ち、人の心に寄り添うことのできる人
- 2 自己理解、他者理解への努力を惜しまない人
- 3 自ら考え、行動できる人
- 4 他者の意見に耳を傾けられる人
- 5 責任感があり、協力を惜しまない人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

介護福祉科では、称号授与に必要とされる能力（知識、技術、倫理観）を習得するために、「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」の4分野に分け、段階的に科目を編成しています。また、「介護実習」では、学内で学んだ知識、技術を実習現場にて実践し、更にそこから新しい課題を発見し、その解決の為に更なる学習活動へと繋げていきます。

1 「人間と社会」

1年次には、福祉の理念を理解し、尊厳の保持等、専門職としての基盤となる倫理観や今後求められるチームマネジメント力を養います。対象となる方の生活を支えるために必要な社会資源について学びます。2年次には、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識と総合的な判断力及び豊かな人間性を養います。

2 「介護」

1年次には、介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、様々な場面で必要とされる介護の基礎的な知識、技術を習得し、対象者との信頼関係を構築する能力を養います。「介護実習」においては、介護を必要とする方々の実際を知ること、学内で学んだことをいかに活用していくかを考え、多職種連携について学習します。2年次には、1年次で学んだことを更に深めるとともに、本人主体の生活を地域で継続するための介護課程を展開できる能力を養います。

3 「こころとからだのしくみ」

介護実践に必要な根拠となる、心身の構造、機能及び発達段階とその課題について理解し、対象者の生活を支援するための学習をします。また、認知証や障害のある方の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解します。2年次には、学びを深めるとともに国家試験対策授業も展開します。

4 「医療的ケア」

医療的ケアが必要な方々の安全で安楽な生活を支えるための基礎を学び、そのうえで喀痰吸引や経管栄養の知識と実施手順を習得します。

ディプロマ・ポリシー（称号授与の方針）

介護福祉科では、次のような知識や能力を身につけ、必要単位を修得した 学生に卒業認定・称号を授与します。

- 1 介護福祉士の国家試験に合格するための知識を備えている。
- 2 対象者の生活を支援するために必要とされる、コミュニケーション能力、観察力、洞察力、創造力を身につけている。
- 3 介護福祉士として、介護福祉の実践の場へ貢献する意欲を持ち、高い倫理観を備えている。